

随想リレー



豊富な観光資源(文化資源)に恵まれ、中国や韓国とも近く二つも空港をもっている。このリソースを大いに活かして全国のモデルとなるような

鳥取の魅力の世界へ発信

東京鳥取県人会幹事 東田 収司

そこで、近未来的発想で提言するならば、やはりITの活用、デジタル技術を駆使することだと思える。幸いデジタル技術の進展は、文化遺産を要するが、Web上での取

▼片山知事(中央)と水森かおりさんとその左竹内功鳥取市長



総会と懇親の夕べ

観光立国を模索し始めた日本。訪日外国人を2010年までに1千万人に倍増させようというものである。

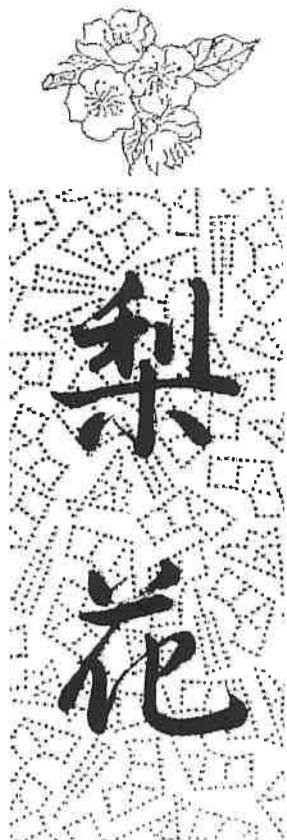


▲齋木新会長の乾杯

さらに今年のNHK紅白歌合戦に出場を決めた水森かおりさんのショーが始まると盛り上がりは最高潮になりました。

「平成15年総会と懇親の夕べ」100周年記念で大いに盛り上がる

「平成15年総会と懇親の夕べ」が10月14日、過去最高となる281名の方々にあつま



題字/西尾 邑次 名誉会員揮毫

第17号 2003年12月20日発行 東京鳥取県人会事務局 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10F

司葉子さんが11月3日 紫綬褒章を受章! おめでとうコールに応えてくれました



▲笑顔の司葉子さん

さつと編集部からおめでとうコールを差し上げると、司葉子さん本人が電話口に出られて、次のような喜びを語ってくださいました。

初春の第一戦 音田選手(ボクサー)を応援しよう!

新旧東京鳥取県人会会長の ぐあいさつ

平成15年10月14日開催の県人会総会で天野勇会長が勇退し名誉会長に、齋木勉副会長が会長に就任しました。



天野 勇 前会長



齋木 勉 会長

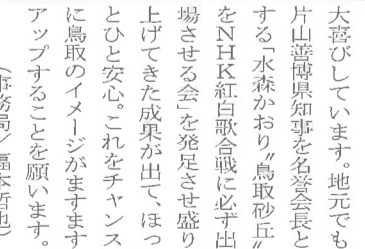
四年間の会長在任中は、役員の方々はじめ会員のみなさん、県東京事務所の方々に、これまでの御支援と御協力、本当に有難うございました。



▲スパーリング中の音田選手

池田家の墓所移転続報 ふるさと鳥取で開眼法要

旧鳥取藩主池田家のお骨壺が、去る六月十七日東京の多摩霊園から鳥取県に移された



僧侶の読経 撮影/池本喜己

鳥取新聞 東京支社/〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7

近現代化された酒蔵に 伝承の魂を吹き込む

HEVA House of European Value

松本博法律事務所 弁護士 松本 博

鳥取銀行 TOTTORI BANK 東京事務所 所長 森田 明彦

在京OB会だより

関東鳥城会

中野純氏が新会長に就任

平成15年度関東鳥城会(会長・山根眞樹生)お迎えし、総勢73名で開

中野純氏が新会長に就任
中野純氏は、11月16日(日)、千代田区二ツ橋にある如水会館で開かれました。

八頭高関東同窓会

同窓会今昔

八頭高等学校関東同窓会が平成15年11月30日白金の八芳園で開催

八頭高等学校関東同窓会
出席し、年齢層も幅広く、若者からは郷里の最新情報、先輩からは将来の進路についてのアドバイス

あの街「の町」(14)



五「し(資)」の里 佐治村

佐治村は鳥取県東部の東西16・6km、南北8・5kmの細長いV字峡谷に位置し、周囲は山々に囲まれ、全般に傾斜地が多く、西から東に流れる一級河川・千代川支流・佐治川に沿って広がる自然豊かな農村です。

を紹介頂き、大村文夫氏(中44期)には熱を籠めて「母言葉」を述べられ、2時間半が校の野球の思い出を語っていただきました。

恒例のビンゴゲーム。鳥取(当番幹事一同・西高18期、山田雅行、吉田政雄、山川洋子、山内ひろみ、森田祐理)の三角幸子さん(西高15期)を、そして出身町名が残ることを願いました。

恒例の校歌斉唱では、全員が肩を組み、気持ちをひとつにし、大合唱で幕を閉じました。

二年後の同窓会には夢多き若い同窓生を迎え、諸先輩の若返りを期待しましょう。(事務局担当 山田雅雄)



多くの農村がそうであるように、本村においても過疎化が進行しており、このため村を挙げさまざまな活性化策を実施しております。

東京米城会

オペラの熱唱もあり賑やかに開催

去る11月2日、米子東高の減の傾向にあったので、思い切って開催を日曜日の午後との総会・懇親会が、赤坂の全日空ホテルで開催された。

多数の出席者を得た。当日は、母校の小谷教頭、本部長田ヶ丘の増尾会長、関西米城会長、西米城会の渡辺会長の他、近隣他校同窓会の会長さん方も多数出席



長さん方も多数出席されて錦上添花添えて頂き、また卒業生でオペラ歌手の小鉄和広さんと香蘭藤子さんの二人が校歌などを熱唱して盛んな拍手を浴びていた。

米子南高校同窓会

第45回東京水陸会総会開く

去る11月21日(金)東京東中東海水陸会長、福永関西水陸会会長、近藤東京水陸会会長、西尾東京かしの会副会長、下田東京事務局長と来賓の方々をお迎えし開催いたしました。

席上市川校長より母校の近況報告、各地区会長の活動報告と続き、貴重な情報交換が出来ました。懇親会も飯塚元会長の力強い乾杯の音頭で始まり、集いも佳境に入ると、卒業年次に関係なく一同心が一本の太い絆で結ばれ、明日への力が蘇ってまいりました。

県人のお店

すっぽん・割烹 義津根

蒲田駅を降りて東口から徒歩3分のところに「義津根」はある。言葉にするとは想像するが、何の関わりもない。義津根は鳥取県人ですが、私はそれ以前に鳥取とは縁が深かったと語る義津根さん。

義津根さんが10代で最初に板場の修業に入ったのが、ついでに、美鈴さんの里は日野川に近い伯耆藩口という所で、「ほんにやまがすがた」と



義津根さん、お品書きがあった。鳥取県が夢と語るおしどり夫婦であった。営業時間/昼11:30~13:30(平日のみ)17:30~23:00(定休日、祝祭日)宴会料理三、〇〇〇円、すっぽん料理一式一八、〇〇〇円(3人分)大田区西蒲田/TEL 03-3739-4428 写真・文/遠藤隆司

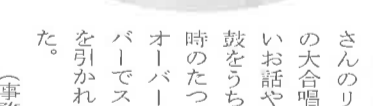
恒例の新米争奪戦も大熱戦。並河前会長の美声の指揮の下、身者が集い、にぎやかに開催しました。(会長 松本正雄)

11月8日(土)サブポロ銀座5丁目店に日野郡溝口町出身者が集い、にぎやかに開催しました。(上写真) 総会は地元から住田溝口町長と義津根さん、デオ取材のため職員2名も上京、来賓として下田鳥取県東京事務局長や天野前鳥取県人会会長など出席をいただき、町長から溝口町と岸本町が合併する旨報告があり複雑な心境と

第5回東京溝口会 (会長 鳴海允)

時の過つのも忘れるほどの盛り上がり

鳴海允会長の挨拶から始まり、恒例の歌謡大会も大熱戦。さらには来賓の楽しいお話や会員の歌。料理に舌鼓をうちながら杯をかき、時のたつのを忘れず定時時間をオーバー。店からタイムアウトでストップがかかり後髪を引かれる思いでお開きにした。(事務局 篠村啓明)



「地域伝統芸能まつり」は日本各地で受け継がれてきた芸能を伝承し、地域の活性化をはかる取り組みです。

来年のご案内
「ゴルフ会」 4月7日(水) 場所 船橋カントリークラブ
「囲碁の会」 2月14日(土)12:30 場所 日本棋院市ヶ谷会館
お問い合わせ:03-3521-9178 事務局 大江

趣味の会
ゴルフ会の結果
第9回(9/10)紫・C あやめコース29名参加
優勝 松浦克己 準優勝 三刀谷毅 第3位 小野憲彦
第10回(11/11)大厚木C・C 櫻コース24名参加
優勝 益田真 準優勝 上村正明 第3位 大江誠二